

2010年(平成22年)10月23日(土曜日)

# 愛知の病院

つなごう医療

<137>

大腸肛門科の専門病院。古くから「野垣さん」として広く知られる。年間約八千人の新たな患者の約九割が、痔を訴えて来院する。

「痔」と言われる病気には痔核(いぼ痔)、裂肛(切れ痔)、痔瘻の三疾患があり、治療も異なる。痔と思っても病気でない場合のほか、炎症性腸疾患のクローン病や潰瘍性大腸炎、がんなど、深刻な病気が見つかることもある。

同病院は初診に時間を掛ける。症状や生活でどう困っているかなど、患者の訴えを丁寧に聞く。その上で触診を重視して診察し、適切な診断と治療法を選択することが一番大切と考えている。

「皆さん、意を決して来られる。『汚い所を見せてごめんなさい』と恐縮してばかりの人も。」

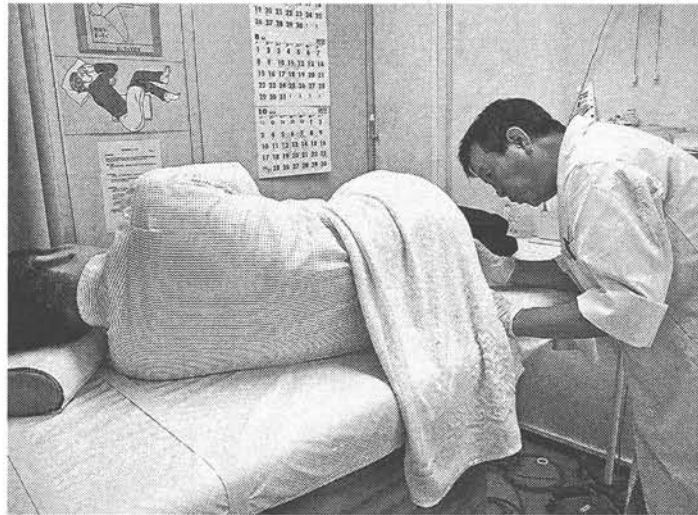
## 野垣病院 名古屋市瑞穂区

『そういう患者ばかりだから大丈夫』と答えるが、ここでは何より安心してもらいたい」と柴田純孝副院長は話す。

年間千七百件ほどの手術のうち、約五百件を占める痔核の手術は、結紮切除法が主だ。痔核は、患者数は多いものの手術しなくていい場合も多く、必要かどうかを正しく診断することに力を入れる。

手術する場合は、術後

診察は横向きでスポンをひさまで下ろすだけでいい「シムス体位」で、「触診を一番大切にしています」と柴田純孝副院長。名古屋市瑞穂区の野垣病院で



野垣病院 ▷創設 1923年名古屋市中区で開業、46年現在地に移転▷99床▷常勤医7人、非常勤医8人▷大腸肛門科、胃腸科など4診療科▷名古屋市瑞穂区川澄町。地下鉄桜通線桜山駅から徒歩5分▷電052(852)1211

# 毎週金曜に女性外来

に便が出にくくなる危険の選択は慎重に行う。を減らすため、肛門の粘膜や上皮を取りすぎない技法が工夫されている。

重症の場合、術後に便が漏れる後遺症のリスクが高まるため、括約筋をと、昨年十月からは、毎週金曜日の午後には女性外来を開設。女性だけの診察時間という安心感が

「ALTA療法」も痛みがつくって皮膚表面にはじが少なく、入院期間も短ける。手術はトンネル部術のうち二割ほどの重症から、受診者が通常の二、三倍に増えている。痔による受診時の大腸

趣味の油絵が階段や廊下に三百点以上飾られ、入院患者の目を楽しめている。(野村由美子)

新治療法は慎重に 野垣正宏院長の話 当院では新治療法が出てきた場合でも、厳密に医学的見地から、それまでの治療法よりも良いかどうかを検討し、安易に新治療法をうのみにしないよう、常に自らを戒める立場を取っています。経営的な課題ももちろんありますが、「医療の質」、つまり長期に信用されていくことが当院の「実質利益」につながるの考え方を貫いて、今後も治療にあたっていきたくと考えています。